

# 英単語 スペルと発音の関係(上級編)

## 同じ子音字の連続について

きーまちゃんのしつもん

かいとう KAZU 先生

grass, classroom などの **ss**

usually, college などの **ll**

summer, swimming などの **mm**

というように、**同じ文字が続く**ときがあります。

rainy は rain+y なのに、なぜ sunny だけ sun+ny と **n** を続けるのかわかりません。

何かきまりごとがありますか？

発音とつづりの関係の中でもハイレベルの質問だ。ふつうの中学生はここまで深く考えないよ。きーまちゃん、エライ！

ジツは、同じ子音字の連続には、**決まりと理由**が存在する！！  
中1にはむずかしい説明だけど、がんばって読んでみてね。

その前に、用語解説

- ◎ 母音字・・・ a, i, u, e, o のこと。
- ◎ 子音字・・・ a, i, u, e, o 以外のこと。

例に示してくれた単語の, **ss**, **ll**, **mm** の前の文字(アルファベット)は, 何かな?  
そう, すべて**母音字**だよな。

**「同じ子音が2つ続くと, その前の母音字は**

**『<sup>たん</sup>短母音』になる」という決まりがある!!**

ところで, 短母音って何だ?

ウロコ先生の「発音とつづりの関係」にもある通り, 英語の場合, ローマ字と違って, 一つの文字に何通りもの発音があったりする。

例えば, 「a」だと,

① [æ](アとエの中間の強い音), または [a](口をあいまいに開けて, 声を出すだけの音)と発音される場合(どちらもカタカナでは「ア」と表記されるけど, 実際は全く別の音だ)。

② [ei] 「エイ」と発音される場合

③ [ɔ:] 「オー」と発音される場合

①のように「1つの音から成る母音」を**短母音**っていうんだ。

ちなみに,

②のように「2つの音が続いた母音」を「**二重母音**」

③のように「**伸ばす母音**」を「**長母音**」, という。

例にある単語は、

グラス	カリッヂュ	スウィミング	サニ
g ra ss,	co lle ge	s wi mming	su nny
[g ræ s]	[kɑ li dʒ]	[s wi miŋ]	[sʌ ni]

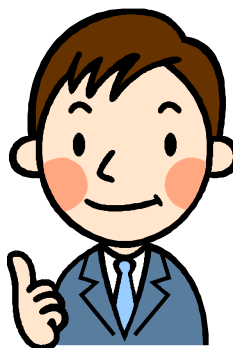
…のように、ss, ll, mm の前の母音字は、すべて**短母音**になっている。

ただし、この決まりは **100%**というわけではない。

例外

- オーる  
◎ a ll のように、ll の前が**長母音**になる場合もある。  
[ɑː l]
- 発音はアメリカ英語をベースにしている。  
グラス  
grass は、イギリス読みだと、g ra ss で、**長母音**になる。  
[g rɑː s]  
classroom も同様です。

ここまでのいいかな？



次に、きーまちゃんの「なぜ？」にもっと肉薄<sup>にくはく</sup>してみよう。

☆1 なぜ、sunny は sun+ny と n を重ねるのか？

☆2 なぜ、swim に～ing を付けるときは m を重ねるのか？

子音字 n や m を2つ重ねないと、前の母音が短母音ではなく  
なってしまうから。

もし n や m を重ねなかったらど一なるかやってみよう。

☆1 は、sunny となるが、これを”サニ” [sani] とは発音しない。n が1個しかないため、「u」が長母音<sup>ながもと</sup>となって、”スーニ” [su:ni] と発音が変化してしまう。

sunny なら、連続した nn のおかげで、前の母音 u は短母音<sup>たんもと</sup>としての発音が保たれる。

☆2 は、swimming で何となくさまになっているが、これでは”スウィミング”とはならず、”スワイミング” [swaimin] となってしまう。これも、m が1つしかないため、i が短母音ではなく二重母音<sup>にじゅうもと</sup>になってしまうからだ。

同じ子音字が2つ続くことで、前の母音を短母音にするはたらきがあるんだ。  
こうすることで、発音がヘンな風<sup>ふう</sup>に変わっちゃうのを防いでいるんだね。

今後、子音字を2つ重ねるかどうかわかったときは、**前の母音が短母音かどうか**をチェックしよう。100%っていうわけじゃないけど、この決まりが威力を<sup>いりよく</sup>発揮するよ！！

おしまい

